

ボランティア・防災活動・体験……

なぎさ、小六年一組 柴田 奈央

中野さんの防災活動のお話を聞いて考えたことは、「自分の体験をいかし、それを伝えることが大切である。」という事です。ネパールや、スリランカ等での人々とのふれあい、地しんのおそろしさを語る中野さんの姿にわたしは、「すごいなあ。」と思いました。正直なところ、わたしは、阪神あわじ大震災のびたり五ヶ月前に生まれて、大阪にいました。もちろん、覚えてたんかないし、お母さんに話を聞いていても、全く分かんない。けれど、中野さんのお話を聞いてみると、急に身近にな、た気がしました。

ネパールの家かとても、もろくて、くずれやすいというのは、発耳でした。実験を見たとき、すぐにアジャツとつぶれて、もし本当にあのようにネパールの家々がつぶれるとしたら、バツとします。

スリランカはエニスで見たとき、とても

すごい状態で、家が流されていく所があつて
「うわ、」と思つていただけ、ヨハン君の家
が本当に流されてその場所を見たとき、すご
いなと思ひました。海がコワくなつても今は
行けるようになっているので本当にすごいと
思います。

ボウニア、ア、エロで言うのは、簡単だけ
ど実さいは行動することは、すごい努力が必
要なんだと思ひました。